



英国王立造幣局 鑄造・発行

ダイヤモンド・ジュビリー 女王エリザベス2世 即位60周年公式記念コイン

— 最新のエリザベス女王の肖像 —

1月16日(月)より国内予約販売開始

泰星コイン株式会社(本社:東京/社長:岡 政博)は、「ダイヤモンド・ジュビリー 女王エリザベス2世即位60周年公式記念コイン」の日本国内での予約販売を、全国の主要金融機関などを通じて1月16日(月)より開始いたします。これは、本年2012年2月6日に英国の女王エリザベス2世が即位60年の《ダイヤモンド・ジュビリー》を迎えられる王室行事を祝して英国王立造幣局が鑄造、発行する公式記念コインです。

■“若き日の女王”と“現在の女王”が裏表に描かれた共通デザイン 金貨・銀貨の2種セット

今回発行される記念コインは、金貨1種と銀貨1種(いずれも額面は5ポンド)です。

デザインも共通で、表面には女王の現在の肖像、裏面には若き日の女王が描かれています。

価格は、金貨・銀貨2種セットで399,000円(税込価格、限定500セット)となっており、単品でのお取り扱いはございませんのでご了承ください。

■このコインだけに刻まれた“最新のエリザベス女王”

デザインは、表面、裏面ともに、女王陛下が厚い信頼を寄せる彫刻家イアン・ランク・ブロードリー氏が、この記念コインだけのために新たに手がけたものです。

1952年2月6日、父ジョージ6世の逝去を受けて25歳の若さで即位して以来、60年の長きにわたり国民に愛され続けてきた女王は、コインの顔としても国民の掌の中で親しまれ、そこに刻まれた肖像も4代目という歴史を重ねて来ました。

今回の記念コインの裏面デザインは、即位の翌年、1953年からコインに刻まれた初代の若き女王の肖像を同氏がリメイク。初々しさの中にも強い決意と誇りを感じる眼差しが印象的です。

表面デザインは、冠を被り、ガーター勲章のローブを纏った威厳と慈愛に満ちあふれた現在の女王のお姿で、英国最高裁判所の入口に掲げられた同氏作の彫刻をモチーフにデザインされました。

これは“最新のエリザベス女王の肖像”となります。

→デザインの詳細は<3頁>をご参照下さい。

■女王エリザベス2世の即位60周年を祝う王室行事《ダイヤモンド・ジュビリー》

2012年2月6日、英国の女王エリザベス2世は即位60周年の《ダイヤモンド・ジュビリー》を迎えます。英国では6月2日からの4日間は祝日となり、国を挙げて盛大な記念式典が行われます。これは、エリザベス女王が即位はしたものの、父の喪に服すために、ウェストミンスター寺院での戴冠式が翌年の6月2日に行われたことによります。

■英国が愛と敬意を込めて祝福する特別なコイン 特別な発行枚数限定

女王エリザベス2世は、英国(グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国)のみならず、英連邦王国16ヶ国を含むイギリス連邦54ヶ国の国家元首です。この記念コインは、国民に愛され、世界から親しまれた偉大なるエリザベス女王を祝福し、英国王立造幣局が敬意を込めて発行する特別な1枚です。発行枚数が金貨3,850枚、銀貨75,000枚(対日割当500セット)と限定されており、希少性も大変高くなっています。



The Queen's Diamond Jubilee



ダイヤモンド・ジュビリー 女王エリザベス2世 即位60周年公式記念コイン

販売概要

価格■

金貨・銀貨2種セット・・・・・・・・・・・・・・・・399,000円（限定500セット）



※価格は税込みです。
※特製ケースに入れ、発行証明書をお付けします。
※セットでの販売のみです（単品販売はいたしません）。
※数量限定のため、限定数に達した時点で販売を締め切らせていただきます。

規格および発行限度数■

	額面	品位	重量	直径	状態	発行限度数	対日割当数
金貨	5ポンド	91.7%	39.94g	38.61mm	プルーフ	3,850枚	500枚
銀貨	5ポンド	92.5%	28.28g	38.61mm	プルーフ	75,000枚	500枚

※プルーフ仕上げとは表面を鏡のように美しく磨いた特別仕上げです。

販売開始日■ 平成24年1月16日（月） 全国一斉予約販売開始

鑄造・発行■ 英国王立造幣局

輸入元■ 泰星コイン株式会社

本件に関するお問い合わせ先



《女王エリザベス2世即位60周年公式記念コイン》事務局（泰星コイン内）
〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-23-2 UBG東池袋ビル1階
TEL. 03-3590-8276 担当/馬場、小野、庄司、本田
FAX. 03-3590-8305 E-mail: secretariat@taiseicoins.com
URL: http://www.taiseicoins.com/bank.html





デザインと解説

※表面裏面ともに金貨・銀貨共通デザインです。

表面



今回の歴史的イベント、ダイヤモンド・ジュビリーを祝す公式記念コインのためだけに製作された女王の最新の肖像です。冠を被りガーター勲章*1のローブを纏った威厳と慈愛に満ちたこの肖像は、女王が厚い信頼を寄せる彫刻家イアン・ランク・ブロードリー氏によるデザインで、最高裁判所*2 入口に飾られた同氏作の女王の彫刻がモチーフです。周囲には女王エリザベス2世を讃えるラテン語の略記「D・G・REG・F・D」*3 と発行年、額面が刻印されています。これが【最後のエリザベス女王の肖像】になるかもしれないと言われています。



*1 ガーター勲章

イングランドで最高の勲章であり最古の騎士団勲章。長年公務に勤めた人物、国の為に貢献した人物や王室に仕えた人物に贈られます。

*2 連邦王国最高裁判所

2009年10月1日、英国に最高裁判所が誕生。それまで司法の最高権威機能は議会上院（貴族院）が兼ねるといふ600年の伝統を覆し2005年に法改正。三権分立という現代化に踏み切りました。建物はウェストミンスター地区パースメントスクエアにあるミドルセックス・ギルドホール。



最高裁判所入口に飾られるエリザベス女王の彫刻↑

*3 D・G・REG・F・D

「Dei Gratia Regina Fidei Defensor」の略で「神の恩寵による女王、信仰の守護者」の意味

裏面



即位の翌年、1953年に初めてコインのデザインに描かれた女王エリザベス2世*4 の肖像をイアン・ランク・ブロードリー氏がリメイク。氏が新たなデザインも加えて若き日の女王が蘇りました。肖像の下に描かれたオリーブの木の枝とリボン、1897年に英国史上初のダイヤモンド・ジュビリーを成し遂げた女王ヴィクトリアの記念メダル*5を、そして「DIRIGE DEVS GRESSVS MEOS(神のお導きがありますように)」というラテン語の刻印は、女王ヴィクトリアが初めてデザインされた記念コイン〈ウナとライオン〉*6を思い起こさせるものとなっています。コインの縁には「A VOW MADE GOOD(守られた誓い*)」という1947年当時、王女だったエリザベス2世が王位継承者として述べた誓いが刻まれています。



*4 コインに描かれた女王の肖像の変遷

1952年に即位した女王は、翌年の1953年に初めてコインにその肖像が描かれ、以来歴史とともに描き替えられ、現在は4代目となります。

初代の肖像はマリー・ギリックによるデザイン。



初代 (1953-1967)



2代目 (1968-1984)



3代目 (1985-1997)



4代目 (1998-)

*5 1897年 女王ヴィクトリアのダイヤモンド・ジュビリー

女王ヴィクトリアは1897年にダイヤモンド・ジュビリーを迎えました。在位は64年（1837年6月20日～1901年1月22日）。エリザベス女王は英国史上2人目のダイヤモンド・ジュビリーとなります。

女王ヴィクトリアのダイヤモンド・ジュビリー記念メダル→



*6 ウナとライオン

女王ヴィクトリアが初めてコインに描かれ1839年に発行された5ポンド金貨の愛称。16世紀の作家エドモンド・スペンサー作『妖精の女王』に登場するウナとライオンがウィリアム・ワイオンのデザインによって描かれています。物語の中で真のキリスト教へ導いた女性ウナとその守護聖獣ライオンが、イングランドを導く女王ヴィクトリアとイングランドの力強さの象徴として描かれています。

ウナとライオン金貨（表・裏）→



↑コインの縁に刻まれた誓いの言葉

*7 守られた誓い (A VOW MADE GOOD)

1947年4月に当時王女だったエリザベス2世が初めての外遊先の南アフリカで誕生日を迎えるに当たり、王位継承者としてラジオ演説で述べた誓い。「私は、今皆さんの前で誓います。寿命が長くとも短くとも、私は生涯をあなたがたと大英帝国の為に捧げます。」



(参考資料)

女王エリザベス2世 年譜

- 1926年 4月 21日 ロンドンのメイフェアにおいて連合王国国王ジョージ5世の次男ヨーク公アルバート（後のジョージ6世）と妃エリザベスとの間に第1子として誕生。
- 1936年12月 エドワード8世の退位に伴い、弟でエリザベスの父であるヨーク公が即位して「ジョージ6世」となる。エリザベスは一家とともにバッキンガム宮殿に移住し、王位の推定相続人となる。
- 1947年11月 20日 エジンバラ公爵フィリップ王子とウェストミンスター寺院で挙式。
- 1948年11月 14日 長男チャールズ王子誕生。
- 1950年 8月 15日 長女アン女王誕生。
- 1952年 2月 6日 父ジョージ6世の死去に伴い、25才の若さで即位し、女王「エリザベス2世」となる。
- 1953年 6月 2日 ウェストミンスター寺院で戴冠式を行う。
- 1960年 2月 19日 次男アンドルー王子誕生。
- 1964年 3月 10日 三男エドワード王子誕生。
- 1975年 5月 7日 日本を初訪問。
- 2007年12月 女王ヴィクトリア（81才8ヶ月）を越え、史上最高齢の英国君主となる。
- 2012年 6月 即位60周年ダイヤモンド・ジュビリー開催



現在85歳とご高齢ながら、公務を控えることもなく、2011年5月にも英国君主としては100年ぶりにアイルランド共和国を公式訪問し、また国賓として来英したオバマ米大統領を迎えるなど相変わらず多忙な毎日を送られています。このように君主としての義務と責任を誠実に実行する姿が国民に評価され、現在でもその人気は絶大です。



女王エリザベス2世 即位60周年記念式典 ダイヤモンド・ジュビリー

即位60年を祝うダイヤモンド・ジュビリーの記念式典は、2012年6月2日～5日までの4日間行われます。この時期になったのは、エリザベス女王が1952年2月6日に即位したものの、喪が明けるまでお祝い事は控えるということで、戴冠式（ウェストミンスター寺院）が翌年の6月2日に行われたことによるものです。

式典の4日間は国民の祝日となり、国をあげて女王を祝福します。主なイベントは次のとおりです。

- ◇ 6月2日（土）エプソム・ダービー
競馬がお好きな女王が有名な競馬レース「エプソム・ダービー」を観戦
- ◇ 6月3日（日）テムズ・ダイヤモンド・ジュビリー・ページェント
女王が乗る船を先頭に、世界中から集まった1000艘の船がテムズ河を下る盛大な水上のお祭り
- ◇ 6月4日（月）バッキンガム宮殿での無料コンサート
英国及び英連邦のミュージシャンが出演
- ◇ 6月5日（火）セント・ポール大聖堂での礼拝、女王が乗った馬車のパレード





(参考資料)

イアン・ランク・ブロードリー プロフィール

英国彫刻家委員会 FRBS のイアン・ランク・ブロードリーによる女王エリザベス 2 世の肖像が初めて英国コインに起用されたのは 1998 年です。ブロードリーの肖像は、女王即位後、英国のコインにデザインされた歴代 4 代目の女王エリザベス 2 世です。肖像には、アーノルド・マチン作の歴代 2 代目の肖像と同様のティアラが描かれています。ブロードリーの肖像は、ピストルッチの作品から多大な影響を受けており、リアリティを追求した、強く、品位のある女王が表現されています。女王は右向きに描かれており、17 世紀から続くコインにデザインされる王室の伝統を守り続けています。

イアン・ランク・ブロードリーは、1952 年にウォートン・オン・テムズに生まれました。1970 年から 1974 年までは、エプソム芸術大学で彫刻を学び、大学卒業後は、スレード芸術大学、そしてユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドンで研究を続けます。1990 年、英国彫刻家協会の准会員に選出。彼の主な功績は、英国インスティテュート・ファンドからの彫刻賞と 1973 年、ロンドンの英王立芸術院からの表彰等です。ブロードリーは、2000 年の英国王立造幣局主催コンクールで、女王エリザベス 2 世の生母、エリザベス・バウエス＝ライオンの 100 歳の誕生日を記念するコインデザインの担当者にも選ばれました。



「彫刻を作る事は、私の人生です。私は幼少期から、三次元の彫刻を作る願望に駆られていました。呪術師のように作品に命を与える、これこそ私が一番重要と考えている事なのです。

彫刻はもともと人々に直ぐに理解されるものではありません。これは現代の人々にとっては、非常に歯痒く感じる事かもしれません。しかし彫刻とは、その存在をじっくりと考え、自ら感じる事で、そのメッセージが明らかになる物だと考えます。」

イアン・ランク・ブロードリー

英国王立造幣局 (The Royal Mint)

1100年以上にわたる非常に長い歴史のある英国王立造幣局が設立されたのは886年。当時の造幣局は、ロンドンに複数あった貨幣製造工房の一つでした。その後、1つに集約された造幣所は、1279年にロンドン塔内に場所を移し、500年間その場に留まり、16世紀には英国のコイン製造を独占するに至ります。19世紀に入るとタワー・ヒルに移転、現在はサウスウエールズ・ラントリサントに最新鋭の貨幣製造施設を保持しています。

英国王立造幣局は、1975年に設置された政府交易基金に沿って、英国政府の管轄省庁ながら営業利益をもたらすビジネスとして運営されています。英国王立造幣局の造幣局長は、1870年以来大蔵大臣が兼任しており、事実上の経営責任者は副局長が務めています。

年に約50億枚ものコインを製造する能力を持ち、毎年、平均して約60カ国の通常貨とコインの元となるブランクを生産・輸出している英国王立造幣局は、英国内で最も成功した輸出産業の1つとして、過去に4回も英国クイーンズアワードを受賞しています。現在では、コレクター用コイン、公認メダルや記念メダル、王印と公印の作成も重要な任務の一つとなっています。



発売窓口

都市銀行 三井住友銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行 (3)

地方銀行 足利銀行、阿波銀行、岩手銀行、北九州銀行、近畿大阪銀行、群馬銀行、四国銀行、清水銀行、十八銀行、スルガ銀行、筑邦銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、中国銀行、筑波銀行、東北銀行、鳥取銀行、富山銀行、八十二銀行、百五銀行、百十四銀行、広島銀行、福井銀行、北越銀行、北陸銀行、北海道銀行、北國銀行、三重銀行、武蔵野銀行、山口銀行、山梨中央銀行 (31)

第二地方銀行 愛知銀行、香川銀行、きらやか銀行、京葉銀行、高知銀行、島根銀行、第三銀行、東和銀行、徳島銀行、栃木銀行、富山第一銀行、東日本銀行、福邦銀行、北洋銀行、もみじ銀行 (15)

労働金庫 全国の労働金庫各支店